

週刊 女川湾海況速報 (No.71)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

12 月 2 日から 6 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して全層で水温と塩分はともに下降し、それぞれ 12.4～13.4℃、31.7～33.4 の範囲にあった。経時的に表層(0m)の水温は 5 日まで下降し、6 日に上昇。底層(6m)では 3 日に一旦下降し、それ以降は一定で推移。鉛直的には 4 日以降に水温逆転を形成。塩分については表層で 3 日と 5 日に下降し、5 日には 31 台を示した。底層については期間通じて下降傾向。全体的な水温の下降と水温逆転は気温の低下の影響と推定。

水深 [m]	12月2日 (月)	12月3日 (火)	12月4日 (水)	12月5日 (木)	12月6日 (金)
0	13.4 (33.3)	13.1 (33.2)	13.0 (33.3)	12.4 (31.7)	13.0 (32.5)
6	13.4 (33.4)	13.0 (33.3)	13.3 (33.3)	13.3 (33.0)	13.3 (33.0)

水温の単位は℃。*5日は水深5mのデータを使用。

②濁度：先週と比較して全層で下降。経時的に表層では 2-3 日に、底層では 2 日と 4 日に比較的高い値を示した。(単位は FTU)

水深 [m]	12月2日 (月)	12月3日 (火)	12月4日 (水)	12月5日 (木)	12月6日 (金)
0	1.0	1.1	0.6	0.4	0.5
6	1.2	0.9	1.2	0.8	0.8

③溶存酸素：先週と比較して全層で上昇し、7～9mg/l 台を示した。経時的には全層で期間を通じて上昇し、特に 5 日以降の上昇が顕著。6 日には全層で 9mg/l 台を示した。

水深 [m]	12月2日 (月)	12月3日 (火)	12月4日 (水)	12月5日 (木)	12月6日 (金)
0	7.4	7.6	7.9	8.3	9.1
6	7.3	7.4	7.8	8.5	9.0

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 13.3～13.4℃、33.3～33.4 の範囲にあった。濁度は 1.0～2.0FTU の範囲にあり、水深 15m 付近で最大。溶存酸素は 7.6～7.9mg/l の範囲にあり、底層(20m)で最小。先週と比較して、全層で溶存酸素が上昇し、酸素飽和度が 90～96%を示した。

12月3日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	13.3	33.3	1.2	7.7
5	13.3	33.4	1.0	7.9
10	13.4	33.4	1.1	7.9
15	13.4	33.4	2.0	7.9
20	13.4	33.4	1.6	7.6

本データの利用については、
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。